

第 9 回（平成 22 年度第 4 回） 方法論パネル議事概要

日時：平成 22 年 8 月 27 日（金）13:00～17:00

場所：社団法人 海外環境協力センター

出席者：水野座長、田上委員、仲尾委員、橋本委員、吉高委員

欠席者：山田委員

1. はじめに

- ・第 8 回方法論パネルの議事概要について事務局より報告された。
- ・オフセット・クレジット（J-VER）制度における電気の排出係数について、認証運営委員会における承認を経た対応が報告された。

2. 新規方法論（案）に係る技術的検討（方法論採択前審議）

オフセット・クレジット（J-VER）制度における対象プロジェクト種類に追加する対象として、「廃棄物由来のバイオガスによる、熱及び電力供給のための化石燃料代替」、「空調設備の圧縮機の更新」及び「熱源設備の更新によるヒートポンプの導入」に対する、パブリックコメントの結果が報告され、以下の確認がなされた上で新規方法論として承認された。

- ・空調の場合、ベースラインの算定及びプロジェクトの算定において、理論値と実測値の適用について整理し、適用不可のパターンを明示する。

3. 各方法論における設備等の新設に係る技術的検討

資料 3 オフセット・クレジット（J-VER）制度における設備等の新設に係る考え方（案）、及び個別提案として「照明設備の新設」、及び「空調設備の圧縮機の新設」について審議が行われ、以下の対応が提案され、個別提案については両案件とも提案内容で意見募集を行うこととなった。

- ・ベースラインの設定は個別方法論毎に積み上げ、方法論策定ガイドラインへ反映すべき内容の検討を継続する。
- ・照明設備の新設、空調設備の圧縮機の新設にかかる新設方法論に関する早期の取り組みについては、パブリックコメント後に再度検討することとされた。

4. 新規方法論（案）に係る技術的検討（意見募集前審議）

前回の方法論パネルにおいて委員から指摘のあった事項について以下 3 件の方法論に修正を加えた。審議の結果、「廃棄物処理施設における熱回収・発電による廃棄物のエネルギー利用（案）」の適格性基準条件 2 において、対象となる焼却施設に修正を加えることで、3 件ともパブリックコメントを実施することが承認された。

- ・「古紙廃プラ固形燃料（RPF）の製造・利用（案）」

- ・「熱分解による廃プラ油化燃焼・ガス化燃料の燃料利用（案）」
- ・「廃棄物処理施設における熱回収・発電による廃棄物のエネルギー利用（案）」

5. 新規方法論提案状況と暫定評価に対する審議（方法論検討前審議）

事務局より資料 5 について説明し、方法論リストについては提案の内容で承認された。

6. その他

今回は 9 月 30 日の開催予定であるとされた。

以上